

令和6年7月11日

国土交通省関東地方整備局

港湾空港部

## 名洗港（銚子マリーナ）で緊急支援物資輸送訓練を実施します

関東地方整備局港湾空港部では、大規模地震や豪雨による洪水・土砂災害等により陸路が寸断された場合の海上からの支援を想定し、名洗港（銚子マリーナ）で国土交通省関東地方整備局と銚子市による合同の緊急支援物資輸送訓練を実施します。

### ○訓練概要

訓練名：関東地方整備局の船舶による緊急支援物資輸送訓練

訓練場所：名洗港（銚子マリーナ）（〒288-0025 千葉県銚子市潮見町15）

日程：令和6年7月18日（木）13:00～13:30

訓練内容：接岸訓練・緊急支援物資輸送訓練

関東地方整備局の船舶を銚子マリーナのビジターバースに接岸し、緊急支援物資の受け渡しを行います。

訓練参加者：銚子市長

越川 信一

関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所長 大谷 琢磨

関東地方整備局 千葉港湾事務所長 齋田 伸一

○取材を希望する場合は、16日（火）までに別紙の事前登録書をご提出ください。

○荒天により中止の可能性があります。

中止の場合は前日（17日（水））の17時までに事前登録者に連絡します。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、千葉県政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課

電話：045-211-7427 mail: info-i83ab@milit.go.jp

課長 滝口（たきぐち）（内線：5719）

課長補佐 仲里（なかざと）（内線：5739）

## ○「命のみなとネットワーク」の取り組みについて

近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことのない豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生しています。陸路が寸断して孤立した被災地において、海上輸送を活用した緊急物資や生活物資、救援部隊や被災者の輸送等の事例も増えつつあります。国土交通省港湾局では、こうした状況を踏まえ、“みなと”の機能を最大限活用した、災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、このネットワークの形成に向けた取組を各地域で進めています。具体的な取組として、災害時に速やかに対応できるように、国土交通省と関係市町村等が合同で、物資又は人員輸送に係る訓練を行っています。

関東地方整備局港湾空港部では、令和5年度に神奈川県相模湾の地方港湾で訓練を実施しました。



令和6年度においては、神奈川県相模湾での訓練を継続しつつ、令和6年1月1日に石川県能登地方で発生した能登半島地震において、半島という地理的条件により海上からの災害支援活動が重要な手段となったことから、房総半島にある地方港湾である名洗港において、訓練を実施します。

## ○訓練日程

- 10:00 茨城港常陸那珂港区 発
- 13:00 銚子マリーナ 着
- 13:00～13:30 緊急支援物資輸送訓練
- 13:30 銚子マリーナ 発
- 16:30 茨城港常陸那珂港区 着

○訓練場所

株式会社 銚子マリーナ

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町 15 番地 TEL 0479-25-7720 FAX 0479-25-1322



○訓練使用船舶

関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所 港湾業務艇「ひたちⅡ」

長さ16.7m 幅4.2m 総トン数19t



(別紙)

【事前登録〆切：令和6年7月16日（火）17時】

## 事前登録書

令和6年7月18日（木）に開催される訓練の取材の事前登録を行います。

### 1. 報道機関名

---

### 2. 氏名等

氏名	連絡先	メールアドレス

### 3. 送付先 以下のFAXもしくは電子Mailあて

FAX：045-228-5529

Mail：[info-i83ab@mlit.go.jp](mailto:info-i83ab@mlit.go.jp)

### 4. 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課

電話：045-211-7427

課長 滝口

課長補佐 仲里